

東京亀城会々報

第24号

発行

平成16年6月20日



最上の流れにうるほふ里の
学び含みどりの希望はみちて
明るしや 清けしや
我らの園 我らの門
あしたに夕べに集ふ
手を引き助けて円かに睦みて
愛あり仁ある人とならん



ああ見よ鳥海七千餘尺
虚空に聳ゆる巨人の姿
黙示に学びてわれらの健児
六百並んで高きに向ふ



「元氣を得る集いを」

平成一六年度総会・懇親会

実行委員長 本間充

今年の東京亀城会は末尾「9」の年次である我々が運営を担当します。「同じ釜のメシ」ではありませんが、多感なあの時期に鳥海山を仰ぐあの地に共に集った人々が年に一回、一堂に会します。

当時身体の小さかった彼が遅しくなっていたり、随分生意気だった奴が柔な紳士になっていたたり、また余り目立たなかった彼女がエラク美人になっていたたり、そんな諸先輩の風を受けたり、また同期と笑い合ったり、後輩に冗談を流すなかで知らず知らずに新たな元氣を得るような会にしたいものです。

記

◎日時 七月一七日(土)正午から
◎会場 五反田ゆうぽうと(重陽の間)
品川区西五反田八―四―一三
電話〇三・三四九〇・五一一一

◎懇親会費 八〇〇〇円

*但し一〜二七回卒、
七一〜七八回卒は六〇〇〇円。

◎年会費 七九回卒は無料
二、〇〇〇円

◎交通 J R五反田駅西口徒歩五分、
東急池上線大崎広小路駅となり

◎お招きの恩師 若生 茂先生
津田富旦先生

◎実行委員長
実行委員

本間 充(29回)
後藤吉修(39回)
石山尚徳(49回)

15年度アルバム



喜寿の大川龍太郎(左)さんと早藤武次



平成15年度第38回東京亀城会総会・懇親会



フレ〜フレ〜酒中
フレ〜フレ〜酒東

左から石川一男先生
富樫都連先生
今田幸明恩師
石川翼久校長



本校出身のMayuko(中央)らによるSPA・クイーンはオリジナル曲を熱唱

式次第(12:00〜15:00)

◆第一部 総会

平成15年度事業報告
平成15年度決算報告
平成15年度監査報告
平成16年度活動計画
平成16年度予算案
役員改選

◆第二部 懇親会

ご来賓紹介
演奏
[聖バレンタインプラスアンサンブル]
恩師のお言葉
喜寿のお祝い
ビンゴゲーム
会旗引継
応援歌合唱・校歌斉唱

東京亀城会 平成一五年度活動報告

一、総会・懇親会

○平成一五年七月一二日(土)

五反田・ゆうぼうと七階「重陽の間」

○出席者数…一四四名

(会員八一名、来賓二三名、学生二〇名)

二、賀詞交歓会&第四回セミナー

○平成一六年一月一七日(土)

五反田・ゆうぼうと

○出席者数…六四名

(会員六一一名、学生三三名)

○講師

・中村恒也

(セイコーエプソン(株)相談役、一六回)

・越後谷悦郎

(東京工業大学名誉教授、一六回)

三、平成一五年度亀城同窓会総会・懇親会 出席

○平成一五年一月八日(土)

ガーデンパレスみずほ

四、他校同窓会総会出席状況

○如松同窓会(鶴岡北高)

○東京鶴翔会(鶴岡南高)

○東京みやまちどり会(庄内総合高)

○東京有燐会(酒田西高)

五、拡大理事会・会務執行理事会等

○拡大理事会

平成一五年四月一九日(土)

第24号 目次

平成16年度総会・懇親会案内	1
平成15年度活動報告／	
役員候補	2
24号発行のご挨拶／	
会計報告・予算案	3
母校の現状報告	4
亀城会だより	6
同期会・昨日今日	8
トップランナー	12
ふるさと発	14
同窓だより	16
亀城人往来	17
先生元気だが	19
お知らせ	20
亀城同窓会会則	21
東京亀城会会則	22
平成17年賀詞交歓会・	
第5回セミナーのご案内	24

○会務執行理事会

平成一五年四月一九日(土)

平成一五年六月二二日(土)

平成一五年九月二七日(土)

平成一五年十一月二九日(土)

平成一六年三月一三日(土)

東京亀城会役員候補

(任期・平成一八年総会まで)

平成一六年四月一八日に開催された東京

亀城会拡大理事会において、向こう二年間

の新役員案が審議され、次のような推薦案

となりました。

○顧問

内山 敬司 (第15回)

佐久間 正 (第22回)

○相談役

藤井 重信 (第12回)

「自慢広告。」ですみません。

★佐藤社員



●創業33年目・7,000棟の実績が生きています。

和のりすずらん苑
本格木造分譲住宅
自由設計の家

自分たちでアイデアを出し合い、研究して
創った住まいに住むって、こんな幸せなこと
はありません。

今年もすでに3名の
社員が、自社住宅を
購入。

★山市社員



★藤井社員

☆文化放送のCMでおなじみの

株式会社 鈴建工務店

■本社/東京都板橋区弥生町28-10 TEL03(3974)2805(代)
■大宮店/埼玉県さいたま市吉敷町4-262-4 TEL048(642)1731(代)

代表取締役 鈴木 康 男(昭和31年度卒業) ★同窓生、及び果人の方が住宅のご購入やご建築の際には特にご優遇させていただきます。

- 佐藤 昌祐 (第13回)
越後谷悦郎 (第16回)
北村 総一 (第20回)
大川龍太郎 (第21回)
佐藤 郁雄 (第23回)
鈴木 藤男 (第31回)
大滝千佐子 (第32回)
野口 和雄 (第33回)
- 会長
上林 茂 (第27回)
- 副会長
五十嵐昌士 (第28回)
本間 英生 (第29回)
岩谷 純子 (第32回)
阿部 尚記 (第33回)
- 監事
相川 俊明 (第33回)
元木 徹 (第42回)

二四号発行のご挨拶 「社会性に豊んだ亀城会に」



東京亀城会会長
上林 茂
(27回)

東京亀城会の皆様方お変わりなくお過しでしょうか。

年金制度、北朝鮮外交、拉致問題、イラクの人質問題等々、まことにさわがしい年度の始まりでした。

北朝鮮に残った五人の子供たちが帰ってきたのはなによりでしたが残りの被害者一人はどうかののでしょうか。

イラクの事件では拉致された人質の家族が自衛隊は即時撤退しろ、見殺しにするのかと言っていました。日本政府は危険だからイラクに入国しないように注意していたはず。注意を無視して自分の判断で行動したら自分で責任をとるべきでしょう。イラク拉致事件に巻き込まれた国で自国の政府を批判する家族や団体が際立っている国は日本だけのようです。

日本国憲法には国民の権利、義務、自由、責任をうたっていますが、学校教育では一体どう教えているのでしょうか。

権利、自由、義務、責任は一体である事をしっかりと身につけさせるべきです。

これは小学校、中学校、高等学校だけの問題だけではないようです。

私が医学部の学生時代は倫理学、哲学、政治学、社会学、法学等を一般教養としていやでも単位をとらなければならぬカリキュラムでしたが、この頃では医学の専門科目がふえて倫理学や哲学を学んだ事がない医師が増えてます。これでは病気を診る医者が増えて人間を見る医者、社会を見る医者、若手は育たないと思います。

日本の国民は己を知って他を知らぬ人間が多くなっているようです。

願わくは亀城会の人達は人間性豊かな社会性に富んだ人々の集りであってほしいと思います。

東京亀城会会計報告・予算案

平成一六年度会計予算案

(平成一六年四月一日～平成一七年三月三十一日)

2,574,408
1,900,000
680,000
240,000
200,000
0
800,000
3,820,000
6,394,408
21,000
1,350,000
390,000
240,000
586,000
680,000
482,000
165,000
70,000
215,000
150,000
4,349,000
2,045,408
6,394,408

平成一五年度実績

(平成一五年四月一日～平成一六年三月三十一日)

2,370,677
1,786,000
612,000
389,000
230,000
72,041
743,000
3,832,041
6,202,718
13,193
1,148,067
318,675
140,000
452,419
712,115
406,447
139,092
61,850
189,927
46,525
3,628,310
2,574,408
6,202,718

平成一五年度会計予算

(平成一五年四月一日～平成一六年三月三十一日)

2,370,677
1,900,000
680,000
340,000
200,000
0
900,000
4,020,000
6,390,677
21,000
1,420,000
390,000
294,000
513,000
640,000
662,000
165,000
70,000
205,000
150,000
4,530,000
1,860,677
6,390,677

収入の部	支出の部
1 前年総各寄附金合計	1 会費
2 2 年会費	2 2 年会費
3 3 年会費	3 3 年会費
4 4 年会費	4 4 年会費
5 5 年会費	5 5 年会費
6 6 年会費	6 6 年会費
7 7 年会費	7 7 年会費
8 8 年会費	8 8 年会費
9 9 年会費	9 9 年会費
10 10 年会費	10 10 年会費
11 11 年会費	11 11 年会費
12 12 年会費	12 12 年会費
合 計	合 計

母校の現状報告

酒東改革今年の課題



校長 石川 翼久

本格的な校舎建築工事に先立ち、由緒ある城跡の埋蔵文化財発掘調査に入りました。秋には第二校舎（理科棟）が解体され、仮設のプレハブ校舎で一部の授業が始まります。理科や芸術、グラウンドを使用する体育の授業や部活動に様々な制約が出てくるのが予想されます。そのため、教職員・生徒にはハンディキャップをはね除ける知恵と工夫、そしてたくましさ、今こそ求められる時となりました。

県で検討している高校再編整備計画が酒田でも大きな関心事になっており、基幹校として営々と伝統を引き継いできた本校も他人事ではなくなってきたています。市民の中に確固たる地盤をつくり、本校のあるべき姿を明確に発信することが重要な課題であります。それに向け「将来構想委員会」を設置し、学習時の心意気「日本一の中学（高校）たれ」を享受し、教職

員・生徒が一致して「新しい酒東」づくりに精励する決意であります。

東京亀城会各位には本校の更なる発展のため、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

今、本校の教師に求められること



頭 佐藤 平

四月に鶴南から教頭として赴任しました佐藤平と申します。同じ進学校からの異動ということで、同種の課題を抱え、生徒の志望校合格という宿命を感じながら、身の引き締まる思いで参りました。

本校は「知・情・意・力」を学校の目標に掲げていますが、今回は知と情について私なりの考えを述べて挨拶にしたいと思っています。「知」は確かな学力の養成です。ひとことに学力といってもいろいろな考え方がありますが、昨今の大学入試は知識の量だけでは太刀打ちできません。思考力や判断力等の考える力が大切になります。「なぜだろう」という疑問からスタートし自ら考えていく姿勢がポイントです。そんな授業展開が教師にも求められることでしょう。「情」は他

への思いやりや、母校、郷土を愛する豊かな心の育成です。本校は、将来社会のリーダーとなるべき人材を多く抱えています。情はリーダーの資質の一つです。だからこそ、日頃から周りを幸せにすることが自分の喜びであるという気持ちを持てることが大切で、人と人とのふれあいを通して、心や命を大切に考える教育に積極的に取り組まなければなりません。

進学指導を通して、豊かな心を育てる、これが進学校に勤める我々教師の使命であると考えたい。

文化部は燃えている

野村 靖

演劇部は昨年、県大会で最優秀賞を獲得し、東北大会優良賞。定期公演も毎年すばらしい。

吹奏楽部は県大会銀賞のほか、福祉施設や亀城小学校などでの演奏会など幅広く活動。今年は過去最多の八五名の部員です。

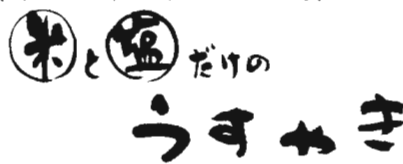
美術部は文化部のインターハイである全国高総文祭に県代表として彫刻を出品。酒東展もがんばっています。

科学部は県研究発表会で優良賞。今年は日本学生科学賞をめざし研究にも熱が入っています。

書道部は全国春秋書道展などで多数入賞しています。

英会話部は月毎のイベントを

素材にこだわり、お米のおいしさを追求しました。



お近くの成城石井、クイーンズ伊勢丹、ザ・ガーデンでお求め下さい。

酒田米菓株式会社 佐藤 茂

〒998-0932 山形県酒田市内南町2-24

TEL (0234) 22-9541 FAX (0234) 24-5239 7ライン*0120-000-204

尚男 小松 (第46回) 小松 (第28回)

創業天保三年 全国銘菓協会員店



本店 山形県酒田市内南町1-112番1号

電話 (0234) 22-5111(1F)

日本海、庄内蔵の青のりを使った羊かん

「くねたけようかん」



「青雨なる色調、気品ある風味類なし」と正岡子規先生が絶賛された、日本海、庄内蔵の青のりを使った最中。

亀城会だより

八幡亀城会

事務局 松田 文夫

すがすがしい朝に小鳥のさえずりを聞きながら、近くの野山を散策したり、ワラビ、竹の子を採ったり、水田は緑のベージュに覆われ、玉簾の滝はライトアップによりさらに幻想的になり、本町にとって自然が満喫できる最高のシーズンが到来しました。

本八幡亀城会も再出発して八年目を迎え、研修会、地域への奉仕活動、会員の演奏会、事業活動への援助等を行っています。

今年度の総会は四月一七日開催され、本校の石川翼久校長先生より、「酒東の近況について」と題し、創立九〇周年に向けてさらに「酒東



生としての誇り、品位」の自覚を求めていること、国立公立大合格者減少傾向への対策、史上初の女子クラス誕生、校舎新築工事関連

等をご講話いただき、その後意見交換し有意義な総会となりました。

今後とも、会員相互の交流を深め、母校、後輩のため協力していきたいと考えています。

遊佐亀城会

会長 齊藤 良太



自分も高齢者の一人として老人らしく、若い者に負けない気力をもつて家事に取組んでおります。他人から若いと言われる。嬉しく思うものであります。しかし幾ら鍛えた身体も病には勝てず、五〇才で親ゆずりの胃潰瘍で手術、七〇才で前立腺の手術、どんな頑固な身体も病には勝てぬもの、世間から丈夫で何よりと言われますが、八〇才の歳には抵抗する元氣もなし、いくら丈夫な身分でも人一倍長生きするものではなく逆に普通の身体でも元氣に暮らしておる人も沢山あります。どっちが良いかは別として病氣のない元氣な姿が一番の宝かと思ひます。

「頑張ろう」

宮城亀城会

会長 伊藤 政記



櫻並木、銀杏並木の青葉若葉がまぶしく目に染みる今日この頃です。

ここ杜の都仙台も、リズムカルなすずめ踊りで有名な「青葉祭」も終り、若者達の生命の躍動感あふれる「よさこい祭」、又世界の新進気鋭の音楽家達が一堂に

会する「世界音楽祭」等が予定され、練習に励む若者達の姿が目につきます。

当仙台亀城会も六月二六日を予定して準備中です。大学の先生方や医師、又実業界で活躍の現役の方、すでに第一線を退き趣味悠悠の方々等様々です。どの方も目的を持って生活しておられ、精神の若さを感じます。小生自身も「山への誘い」断ち難く、今年も木曾駒ヶ岳、尾瀬の至仏山、男体山等を登る予定です。

今年も様々の分野で活躍の方々が出席されることでしょう。邂逅が楽しみです。

山形亀城会

会長 石山 雄一



山形市周辺に居住する同窓生で組織している山形亀城会の会員は四九三名（六年二月名簿登録。毎年一回集まって近況を語り合いながら交流を深めています。今年度の総会は二月一八日、山形市の山形グランドホテルに、一六回から七一回までの六九名が参加して開きました。

来賓として、母校の石川翼久校長、初当選の和嶋未希県議員（66回）が出席。石山会長のあいさつに続き、石川校長が母校の現況について、「母校改築の実施検討を終え、この夏から理科棟の解体工事に入る」などと報告しました。

懇親会では顧問、役員を紹介して、酒を酌み交わしながら和やかに懇談しました。山形亀城会は二年後に発足五〇周年を迎えますが、三〇回台の役員、会員を中心に記念事業などの準備を進めることにしています。

近畿亀城会

会長 大洲 正春



会本部、各亀城会の皆様よりしくお願い申し

昨年一二月末に約二年半ぶりに総会が開催され、奥山前会長の後を引き継ぐことになりました。亀城同窓

近畿亀城会総会



上げます。

総会の開催にあたりましては名簿の整理を行ない一五〇名に御案内を送り七八名の方から出欠の御回答をいただきました。出席者は一四名でいささか寂しい気もしますが、これが近畿亀城会の現実の姿ともいえます。総会の日時の設定にも問題があったかもしれませんが今後は会にいかに関心を持ち参加していただけるようにするかが課題となっています。近畿亀城会の役員も新体制となりましたが、前会長が言われた「総会の課題は運営を次の世代に交替し新しい時代へ向つてのふさわしい近畿亀城会を創つて欲しい」というお言葉がとても重く感じられます。

平田亀城会

会長 高橋 昭七



今年は、平田亀城会が発足してから四半世紀、二五周年の節目の年にあたります。

何か記念的な事業をと役員会で検討いたしてきましたが、新たな事業への取り組みは難しいことから例年の総会に記念的要素を織り込んで実施することに決定いたしました。

そのために、若年層の男女会員を中心に実行委員会を立ち上げ、老若男女の会員が気軽に参加できる計画をお願いすることにいたしました。

総会は、一月に開催予定をいたしておりますが会員の年齢差を越えて交流、親睦が図られる集いになるような総会にしたいと考えております。

住まいのあんな事、こんな事。

あなたが描く生活シーンやこだわりをお聞かせ下さい。ライフステージに合わせた、住まいづくりをお手伝いします。お気軽に、ご相談下さい。



暮らしを考えた、住まいづくり

林建設工業㈱住宅部

カムホーム

酒田市大町 6-12 ☎ (0234) 26-6868

<http://www.hayashikensetsu.co.jp/comehome/>

観光にビジネスに



ホテルリッチ酒田

酒田市若竹町 1-1-1

☎ 0234-26-1212

54回卒 熊谷初音 (旧姓: 山口)

16回

傘寿を越えた「寿緑会」員

庄司 佛二

平成一六年度の酒中一六回卒業「寿緑会」は、「有楽町で会いましょう」のメロディーに因むニュートリーキョウで五月一二日東京圏在住者が集り実施した。

初めに昨年六月物故者となられた故藤井君遺作のワインで献杯、次に傘寿を越えたことを祝ってビールジョッキで乾杯、日本酒の宴が進み程良く酔えた寿老人となった。今日集った七人のプロフィールを紹介しします。(アイウエオ順)
越後谷悦郎 工学博士。東京工大卒、同大学教授・名誉教授。本年一月東京亀城会セミナー講演「創造性の開発」

小野和雄 精神科医師、海兵七一期卒。日大医学部卒。著書「般若波羅密多心経私見」

今野 誠 青山学院卒。幹候少尉。中国派遣軍小隊長。花上部長

斎藤敬二 武蔵高上卒。航空整備少尉。NHK、電通部長

庄司 佛二 奉天工大卒。前橋予士校卒。陸軍参謀本部少尉。酒田高校教師、防衛庁、カネボウ工場長

高橋 幸吉 拓殖大卒、莊魂塾塾頭。幹候少尉。大洋漁業、自営業。著書「人生は出会いであるからずや」

高橋 浩 早稲田大卒。幹候少尉。中蒙派遣小隊長。東京都庁。税理士。作品「青春時代の思い出の記」

で? 「ああ見よ鳥海」と「湖風さぶ」を熱唱した。

今年も幹事倉田君で六月一三日に仙台工業倶楽部に集まる。伊東直也工博の「庄内の戊辰戦争」の講義がある。

同期会・昨日今日

22回

一層連帯を深める

尾形 宏

暖冬の影響で開花が早かった桜も、そめい吉野から八重桜に移りかけてきた平成二六年四月一三日、第二回生の東京クラス会が、佐久間君のお世話で今年も五反田の「ゆうほう」とで行なわれた。

終戦の年昭和二〇年卒業のわがクラスも、気持は若くとも寄る年波には勝てず、年々少くなつてきて在京二六名になり、色々な事情で参加者も九名であった。

郷土の銘酒・初孫で乾杯した後、お互いの近況を語り、健康談義や折柄イラクにおける人質事件の渦中であつたので、自己責任の問題、国家と国民の問題等青春時代に立ち返つたような話題も多く、時間を忘れる程楽しい時を過した。

お互いに喜寿を迎えることになつたが、これからも一層連帯を深めよう

と、来年四月の再会を約束して散会した。

25回

過去最高の一七人が参加

五十嵐 儀勇

毎年、恒例になっている東京亀城会二五回生(酒田第一高等学校)の会合が、平成一五年一月最終金曜日の二八日の午後六時から、銀座の日航ホテルで開かれました。

今年は神戸から上京した石黒九二男君をはじめ、東京周辺から一六人で、これまでの最高人数一七人が参加しました。

この年の幹事の佐藤知章君から話があつたのですが、「いつもこれだけの人数が集まるとにぎやかでやりがいがある」ということでした。

それでも今年は鈴木莊司君が亡くなり、東京地区でも同期生がまた一人少なくなっていますが、「来年もできるだけ大勢でまた会おう」ということで二〇時過ぎに解散しました。

23回

予科練からボケ予防法まで

後藤 健

アルコールが入る前に何人か話をすることにしている。昨年は佐藤員一君の「海軍飛行予科練習生」に中二修で入隊した戦争末期の苦労話、跡部君の「N.T.T酒田の歴史」風間医師の「加齢による体の変化と老人病とボケ予防」風間家のルーツ探し、伊藤誠二君の「勤労動員」を織り込んだ私小説「きりぎりしちゃん」桂書房の紹介などがあり、少年時代からの話題で賑わつた。一六名出席で予定より少なかったが紅顔の美少年のつもり



卒業五〇周年 記念大会を開催

五十嵐昌士



開催された。
卒業五〇年を記念し『目で見る』『酒東二八會』と題した現在迄の二八会の歩みを写真で綴った小冊子（A四判三二頁）を発刊。
当日は山居倉庫、山居橋の前で全員の集合写真を撮影した。
本年度中には殆どの会員が古稀を迎える訳ですが、未だ現役で活躍しておられる方、孫のお世話に終日明け暮れている方、ゴルフを終生の友として相変わらず山野で白球を追いつける事に生き甲斐を感じている方と元気な方が多いのに驚きでした。
追記・酒東二八会会長伊藤俊治氏が平成一六年五月六日にお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

31回 昼食会

小山嘉吉

関東三一会では一月の総会を初め、平成一六年は各奇数月に集まることにした。一月、三月は赤羽居酒屋で例会を開催、五月はカリ料理で有名な新宿中村屋本店に集まった。例会も夜だけでなく時には昼の会はどうかと、五月十五日（土）昼、中村屋に集まった。嘗て中村屋に勤めていた仲間や知り合いがいて便宜を図ってもらった。これまでは酒が大切な役を持つ

夜会をカリ（中村屋ではカレーとは絶対に言うてはならない）を主体の昼食会は初めてであった。八名の参加であったが、一時半から一時過ぎまで少量のビールとカリでよくぞ話し合ったものである。
これから
も昼夜関係なく家族も参加出来るようなイベントを考
えたい。



同期会・ 昨日今日

29回 五〇年目の「修学旅行」 ―第三回欧州旅行報告―

佐藤 昭
昭和一〇年生れ組が古希の年を迎えようとする昨年暮に、当会発足当初の幹事、「応援団長」海道和夫君を喪ったのはたいへん残念なことであった。
ともすると気力、体力の衰えを感じる年齢になったが、四月に、三丁目俊三君による三回目の欧州旅行を実現させることができた。参加は女性一五（酒田から二）と男性五の計二〇人。
今回は、三丁目君がすでに半生を過ごした、彼の第二の故郷ともいべきデュッセルドルフに入り、ライン地方と花がいっぱいのオランダ、ベルギーを巡って再びデュッセルドルフに戻り、パリに飛んで帰国、という彼の手作りコースであった。
デュッセルドルフの有名ビア・レストランでの歓迎会とドイツでの最終日に訪れたローマ時代からの旧い町ノイスでは、発行部数全独第二位を数える「ラインニッシュ・ポスト」紙記者の取材を受け、私たちの動静が各現地版に掲載された。

今年卒業五〇年にあたる。デュッセルドルフ版の長文の記事は、港町酒田出身の「修学旅行団」が半世紀を経て同期生三丁目君を訪ねてライン地方等を巡ることにな

ったが、まずは当市がおおいに気に入ったようだという内容であった。ビジネスマンはともかく、団体観光客が余り訪れない土地柄だけに話題性があつたのであろう。
パリ最後の夜、有志九人（女六男三人）がムーランルージュ最終一時公演の入場待ちをしていたところに石井好子さんが突然みえて、岸洋子さんの話などをしたのも、短い時間ではあつたが楽しいひとときであつた。
五月八日、NHK青山荘での第三三回総会には、二年半はで山形東高校に転校した紺野和義君が突然参加してみなを驚かせた。酒田、盛岡、鈴鹿からの参加者もあり総勢五十七名、盛況裏に終えることができた。

Neu-Groendroicher Zeitung



Ochil Japaner auf Klassenfahrt nach Gut Gnadenhof
Gnadenhof, ein altes Dorf in der Gegend von Bielefeld, ist ein beliebter Ausflugsort für die Schüler der Japaner. Am 21. April dieses Jahres sind 15 Japaner mit ihren Lehrern und Begleitern nach Gut Gnadenhof gekommen. Auf dem Bahnhof von Gut Gnadenhof haben sie eine kleine Feiern gegeben. Die Japaner sind sehr glücklich und haben viel Spaß gehabt. Sie haben auch viele Fotos gemacht. Die Japaner sind sehr glücklich und haben viel Spaß gehabt. Sie haben auch viele Fotos gemacht. Die Japaner sind sehr glücklich und haben viel Spaß gehabt. Sie haben auch viele Fotos gemacht.

「ラインニッシュ・ポスト」ノイス・グレイフェンブローイ版（五月五日）。ハプスブルク家所縁の修道院跡に住む農園主を訪ねた折りの囲み記事

象潟の次は伊豆下田で

長谷部和良

平成一五年一〇月一〇日、鳥海山を背に静かな波の音、夕日が日本海に沈む光景、歴史の香り、風土の味にひたりながら、象潟シーサイドホテルで同期会が開催されました。参加者五〇名。翌日は鳥海山散策、酒田では飛鳥行発着港

京都で集う

齋藤昭一

昨年の山麓会は、恒例の酒田での会合の他に、一、月一五日、一



の食堂で新鮮な海鮮料理をいただき、思い出の深い集まりとなりました。三四会の二度目の海外旅行組約二〇名、エーゲ海クルーズの旅が六月五日〜一三日にかけて行なわれました。そして今年度の総会は一〇月八日同期の山本君の経営する伊豆下田の黒船ホテルで開催されます。下田は開港一五〇周年記念に当たります。下田でお会いしましょう。

六日に、深み行く秋の日のひとときを古都「京都で集う会」が企画された。一昨年の首都圏支部の「還暦を祝う会」に京都在住の八木君が参加し、来年は京都で会おうと言って帰ったのが始まりです。春に入り、八木君が実施に向けて活動開始し、関西支部が動き出した。

深紅の紅葉を眺めながら、古都京都の古寺を散策しようと、計画されて参加者は本部、首都圏、それに企画運営に尽力された関西の皆さんの五〇名を数えた。有志の夫婦同伴、平安会館一泊が新鮮な企画だった。美味しい物を食べ吞んで歓談し、そして古寺の東福寺、清水寺、三千院、石庭寺等を巡り、最後に桂川に架かる「渡月橋」まで歩き、旅の疲れを心地よく感じながら、各々帰路に就いた。最後になりますが関西支部の皆さんお世話になりました。ありがとうございます。

同期会・昨日今日

44回

山形や郡山からも

阿蘇豊



我ら四四年卒の東京近辺在住グループ「いなほ会」のメンバーは、新宿駅からすぐの居酒屋で毎年欠かさず忘年会を開いている。今年は例年より多く、一八人集まった。女性には四人。また、山形や郡山からも駆けつけてくれた人もあり、盛会であった。

二次会はメンバーが所有する真新しい多目的スタジオで明け方近くまでオールディズのカラオケで

「おめがだ 元氣だがい！」

伊藤正治郎

早いもので来年は卒業四五周年を迎えます。記念総会「四五周年」を酒田で開催の予定で目下準備が着々と進んでいます。会長、事務局とも改選し新たな気持ちで臨む意気込みです。

東京珊瑚の会は相変わらずチョイト声を掛ければ十数人が集まるフットワークのよさが身上で、つい先月も酒田から新会長上京を機に集まりました。酒が進むと庄内弁が飛び交うようになり、これからは何時でも自由に庄内弁で話せるように「庄内弁保存会」を作る動きもあり楽しみです。「もつけどのー」などの庄内弁を忘れないようにに努力するののも楽しみです。みの一つです。

故郷は遠くにおりておもうもの……



盛り上がった。今年はそのガラス張りのスタジオで、クリスマスパーティーを企画している。なお、「いなほ会」に該当する方は次のアドレスにメールください。

aso-1@gaea.ocn.ne.jp

39回 永寿君と東京亀城会

後藤吉修

今年は一〇年ぶりに幹事を担当する。東京亀城会の幹事という二〇年前の故・永寿幸雄君の大活躍を思い出す。二〇年

前、即ち昭和五九年当時は会場が新宿の貸会議室で、食事もほとんど乾き物という非常に質素で色気のない懇親会であった。あの頃でもライバル鶴翔会はずでに立派なホテルを会場にしていたのに比べると大変な違いであった。そんな中で永寿君はまさに孤軍

38回 酒東三八会

松岡 毅

「昔々或る所にお爺さんとお婆さんが居ました。今はどこにでも

居ます……」。こんな時代になってしまいました。そして私共「酒東三八（サンパチ）会」の会員も還暦を迎え、いよいよ元気に（？）今後のことを考えたい年齢になりました。



昨年八月には郷里で四〇周年記念同期会もあり、八〇余名の出席のもと元気の確認と今後の話で花が咲きました。
東京三八会も、二月二二日帝国ホテルで三〇名の出席のもと盛大に行われました。齢を忘れ髪髪霜をおく者の話は酒の勢いもあり、高校時代を彷彿させてくれました。二次会は仲間の店で、三次会はスナックと、半日も語り酒に浸り、疲れを感じず、再会を期して東京の街から帰還して行きました。

同期会・昨日今日



奮闘……。三平ストアで買出しし、持参の果物ナイフ「丁」でオードブルを次々と作り出し、テーブルに運んだものだった。参加者の人達からは予想もしない美味の作品に大なる驚きと称賛を得たものだった。その永寿君がその翌年急逝した時には限らないショックを受けた。あれから二〇年、あれから二回目の幹事をやりながら、彼を思い出し、改めて冥福を祈りたい。

42回 「ハチの会」桜のもとで

高橋康夫

今年も桜満開の三月最終土曜日二七日に同期会が開催されました。近年は東京の銀座が恒例になっています。

参加者約三〇名、四分の一ぐらいは久しぶりの方だったでしょう。ハチの会の仲間は、卒業以来三七年の時空を越え、初参加の人でもすぐに打ちとけるのです。そのためかどうか、今年は名幹事M君、I君のはからいで一次会、二次会の垣根を取り払い、最初からいつも二次会で利用するスナックを借り切って盛りあげられました。

Oさんが毎年作ってきてくれる、ぼたもちとおみ漬、これがまた思い出話しと酒に良く合うんです。今年は特別おいしかった。

東京近郊の皆さん、来年三月お待ちしています。

※ハチの会・四二年卒業で四×二〇〇八（ハチ）末広がりハ、蜂のようになぎやかな仲間の意味です。



俳人

齋藤愼爾 (33回)

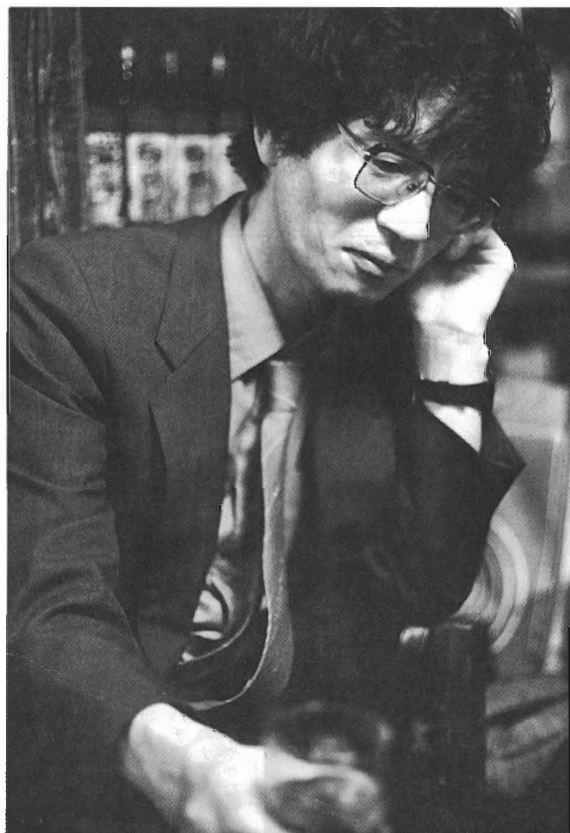
1、生年月日と出身中学は？

昭和一四年(一九三九)八月二五日、京城生まれ。終戦時に引き揚げて父の故郷の飛島へ。酒田市立飛島小・中学校を卒業。飛島は酒田市の北西三九キロの沖合に浮かぶ周囲一〇キロ、面積二・五平方キロの小島で、ウミネコの繁殖地で知られる。日本列島は多島嶼であり、飛島には島の〈原型〉といった相貌がある。

孤立・閉塞・不毛の占有としての島、だからこそその豊饒ともいえる島。『異邦人』の作者にしてノーベル文学賞のカミュの師グルニエは、著作『孤島』の中で、人は島々の中で「孤立・isolate」する、それが島の語源・etolaだという。一つの島は、いわばひとりの孤独の人間だ、というのだ。多くの文人墨客が訪れるのは、この島の孤立の憂愁に惹かれてではないだろうか。

私にも、「飛島は地理的に、外在の世界にあるものではなく、すべて地上の淋しきものの象徴として、わが心内にある」といってみたい衝動がある。島に育ったことは自分の人生にとって決定的ともいえる影響を刻印されたの思いがある。

〈飛島の賽の河原といふ浜に茅蜩のこゑ聞きつついこふ〉と詠んだ佐藤佐太郎は、私が島で最初に出会った文化人である。



2、高校時代の印象的な思い出は？

昭和三〇年(一九五五)に入学。酒田港近くに下宿。下宿というところ三食賄い付きのそれと思われるが、そうする経済的な余裕はなく、自炊ということに。電気釜などない時代で、七輪で火をおこし御飯を炊いたが、火をおこすことに散々、苦勞した。新聞部に入部し、拙い文章を発表。俳句を始めたのは、国語の授業での或る日の課題が俳句創作で、いわば強いられて作らされたことが契機。俳句雑誌『氷海』で活躍されていた秋澤猛先生を紹介され、気づいた時にはこの十七文字韻律の呪縛から逃れようもなく、どっぷり浸り淫していたという経緯がある。

旺盛な俳句少年だった。『氷海』に毎月投句するほかに、『高校コース』や『高校

時代』といった受験雑誌の俳句欄に投句し、幾度か入選し、掲載されては有頂天になっていた。校内の新聞紙上で桑原武夫の『第二芸術論』に稚い反論を試みたり、もう目にするもの耳にするものすべて

が俳句の対象となり、大学受験期には学業の成績は著しく下降線をたどり、一時句作を止めるよう担任教諭から忠告されたりもした。『高校コース』で水原秋櫻子の選に入った句が、『凍港の中央碧き潮動く』である。

文化果つる辺境の島に育った反動で、文化に対する憧憬は人一倍渴望するものがあったように思う。酒東に入るため渡島したときは、心中期するものがあつた。海を渡りながら、

男児志を立てて郷関を出づ

学もし成らずんば死すとも帰らず

骨を埋むるかに墳墓の地のみならむや

人間至るところ青山あり

と口ずさんだことを覚えていた。

図書館に入りびたり乱読に明け暮れたの

も思い出。『岩波英和辞典』の編者田中菊雄の存在を知り、感動したのもその頃のこと。田中菊雄は小学校卒業後、国鉄の給仕、小学校代用教員を経て上京。正則英語学校に通ったばかりは独学。それでいてやがて山形高、山形大などで英語・英語学を教えるようになる。『現代読書法』は当時の私の座右の書であった。独学で英語学の泰斗となったその存在は一つの指標として心内に定着。佐藤紅緑の熱血少年小説『ああ玉杯に花うけて』『一直線』が描く立身出世のモデルがそこにあるという圧倒的感動である。

酒田市が募集した「読書作文コンクール」で、一席入選し、全校生徒の前で表彰されたのも忘れられない。深沢七郎の『楢山節考』の読後感を綴った作文だが、市の広報紙に全文掲載された。私の文章が公に発表された最初の「事件」である。

3、作家を志した理由は？

有限の〈生〉を豊饒にしてくれるもの、精神を無限の彼方にまで拉致してくれるもの、それが文学だと思う。文学作品によって、私は美意識、感性、情緒、思索、叡智を磨きあげられてきたと考えている。人の一生を決定し、その人の生涯に魂の底から揺さぶりをかけるもの、それが文学だ。そんな魂にかかわる仕事をしたいという夢想、創造者として生きたいという希求がある。自分は凡人だから、素人にすぎないからといってみたとして、何もならない。先行者が歩んだ道をもし自分が歩くならばどうなるかと命がけで試してみるべきだろう。そのときおのずから生活は一つの響きをな

すと思う。

4、現在のお仕事は？

「深夜叢書社」という出版社を設立して、今年で四〇周年を迎える。小説、評論、戯曲、詩、俳句、短歌、随筆、写真集など、三百点余を発行してきた。売れる本より、出す価値のある本を出版すること。これが社是だ。惹句は〈情況の全的転位を告知する無償の精神の光芒〉で、無名の才能に発表の場を提供してきた。世にいわれ《深夜版》として燐光を放っている。

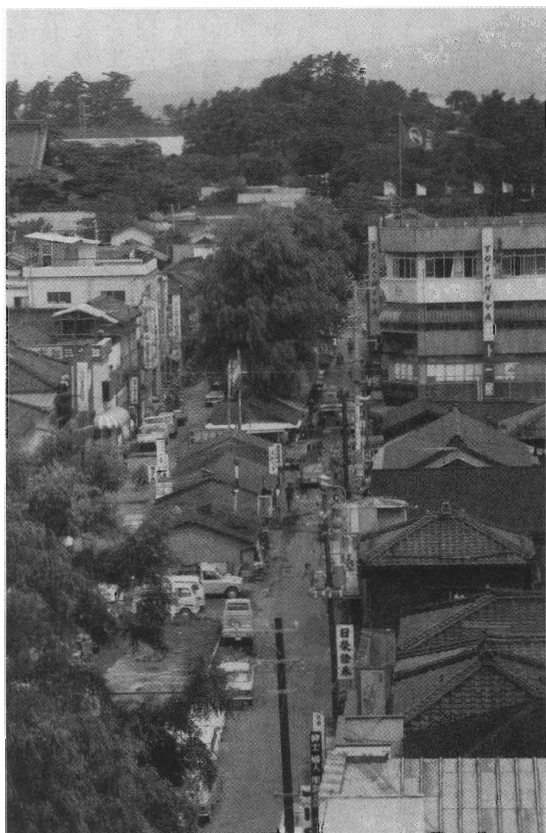
5、寺山修司とのコラボレーションについて

寺山が亡くなって二〇年。しかしまだに彼は話題を独占している。人気はいっこうに衰えない。四七歳の死はあまりにも早すぎた。私が寺山の句集『花粉航海』を出版したのは、昭和五〇年（一九七五）、彼が三九歳のときだ

前年、同人誌をやろうと誘われ、『雷帝』という誌名まで決めていたのに、彼の死により中断。死後一〇年目に『創刊終刊号』として一冊きりの『雷帝』を発行。全国的に話題となった。

6、学生についてのアドバイス

何かを言えるような立場にはない。おそらく一生涯そうだろう。三年前から法政大学の講師をやっているが、ここでもアドバイスといったものともらしいことは発言しないし、しまいと思っている。強いというならば、汝の道を歩め、しかして人々をして語らしめよ、ということか。ニーチェだったら、『お前はお前自身を生きうるために隠れて生きよ』というだろう。それは決して消極的な生き方ではない。隠れて生きることが、どんなに強靱な精神を必要とするか、わかってもらえると信ずる。



昭和40年代頃の「柳小路」（『写真でみる酒田市政』から）



「酒田夢の倶楽」オープン！

— 酒田市 —

四月二十七日、山居倉庫に酒田
市観光物産館「酒田夢の倶楽」
がオープンしました。



新たな観光拠点作りに向けて
本市が取得し、利用法を検討し
ていた山居倉庫二棟が、各種観
光機能を備えた施設として生ま
れ変わったものです。内部は、
酒田の歴史文化の紹介や人形作
家辻村寿三郎氏制作の人形を展
示する「はな華のやかた館」と、
お土産品等販売コーナーや食事
処、観光インフォメーションな
どが入る「さち幸の館」に分か
れ、米どころ酒田の往時を体感
できます。

五月五日までの九日間に、五
四〇〇〇人の来館者数を記録。
昨年オープンした「さかた海鮮
市場」とともに、新たな観光資
源として大活躍中です。皆さん
も帰省の折にぜひ足を運んでみ
てください。

全国初！少年町長・少年 議員が大活躍 — 遊佐町

少年たちの視点で政策提言、
そして実現へ！

遊佐町少年町長・少年議員公選
事業は今年で二年目を迎えます。
若い世代の声をまぎれずに活か
したい、ということから始めたこ
の事業は、ふるさととの遊佐町をもつ
と良くしたいという思いの少年町
長、議員の皆さんの頑張りによっ
て、昨年は、さくらの植樹、バス
ケットゴールの設置、バンドコン
サート、防犯灯やカーブミラーの
設置など、多種多様な施策を少年
議会と町とが協力しあいながら実
現しました。今年はどうな施策を
実現してくれるのか楽しみです。
また三月には、全国に先駆け
「鳥海山の高山植物その他の植物
で構成されるお花畑等保護条例」
を制定し、生育環境の保全、自然
と人との共生を図るための施策を
講じています。



(遊佐町長・小野寺喜一郎)

活躍する少年町長と議員

資料館のある酒蔵

酒王 **初孫**

初孫 蔵探訪館ご案内

- 開館時間 午前10時～午後4時30分
- 休館日 毎週月曜日
- 見学内容 日本酒関連資料コーナー
タイプ別日本酒の試飲
蔵番上納 工場見学
- 入館料 入館・見学はすべて無料です。

東北銘醸株式会社

山形県酒田市大字十疊場字東山10番地の3
TEL: 0234 (31) 1515(代) FAX: 0234 (31) 1588
<http://www.hatsumago.co.jp>

全国酒評会
(国税庁)

5年連続金賞受賞

上喜元

日航国際便に乗る「選ばれた酒」

酒田酒造株式会社

酒田市日吉町2丁目3-25

TEL 0234-22-1541

FAX 0234-22-1542

芳村酒造

好評発売中

芳村酒造



芳村酒造

芳村酒造

芳村酒造

芳村酒造

芳村酒造

水の郷 八幡の地酒

美酒

八幡井
フモトキ

八幡町 麓井酒造株式会社

TEL 0243-64-2002

FAX 0243-64-2132

—平田町

昭和四〇年に、その当時は大変珍しいループ型の跨線橋が砂越駅近くに架けられました。それから三九年、先日県道酒田松山線砂越バイパスが完成し、完成した跨線橋の渡り初めが親子三代夫婦を先頭に行われました。現在、町内三方所でバイパス工事が進められており、急速に交通の利便性が高まっています。



保育園とそこで遊ぶ園児

—
松山町

合併は、現在の行政体としての枠組みを解消することになるために違があることや、これまで構築してきた地域の連帯感や地域づくりの継承に不安をもたれることは当然であろうと考えています。



八幡町

皆様方からも、本町の観光PRにご支援をいただくとともに、ご家族、ご友人とふるさとを訪ね、地元のよさに触れ、さらに新しい魅力に感動していただければ幸いに存じます。



(八幡町長・後藤孝司)

酒田市では、市制施行七〇周年を

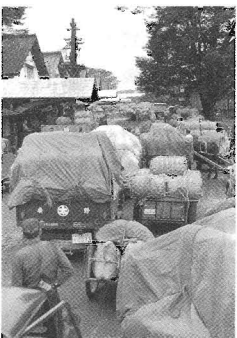
問い合わせは、酒田市役所総務課
〇二三四（二六）五七〇〇、市史編
纂室〇二三四（二三）七二二〇まで。

○新しい市庁舎の完成
昭和三年九月一二日

昭和三年九月一二日に修葺式が庁舎玄関前で行なわれた。新庁舎の竣工と近村合併一〇周年を祝う式典は一〇月二五日に市民会館で行なわれた。前の建物は旧市庁舎



●秋空の新米ラッシュ
香田地区農家の昭和三六年の売渡予約数は五五四、〇〇俵(二二、〇〇〇)であり、金額にして約二億円に達している。入庫米は俵詰めで何馬車にまじってトランポの姿もあった。



第二回亀城会ゴルフコンペ

瀧谷英夫 (43回)

桜にはちよつと早い三月八日の開催となりましたが、今回は新顔三名(といっても、全員大先輩でした。)を加え、例年に比べ二組多い一七名の参加があり、久方ぶりの五組で盛大に行われました。いつも荒れる「春のコンペ」が今年はどうしたとか、天候は曇りながら寒くもなく、さ程風も気にならず、応絶好のゴルフ日和でありました。皆様の日ごろの行いの賜物と感謝・感謝。

さて当日の結果はと申しますと、初参加組が大健闘(ちよつと失礼?)。ふれあい酒田一会长の上野さんは四つのショットホールでNPを三つという快挙を成し遂げ、ネット(新ペリアによるHC)では優勝でしたが、「初参加者は優勝・準優勝無し」という会の規約で残念ながら三位。準優勝は四三回の五十嵐さん。三一回の岡部さんが、春に強い三一回の鈴木さん等強豪の面々を抑え優勝致しました。四位は四四回の遠藤さんが続き、前前回優勝の越後谷先生は栄えあるブービーでありました。

初参加の上野さん、西出さん、七井さん、本当に有難うござい

北郷耳鼻咽喉科クリニック

院長 北郷直克

〒111-0056
横浜市南区藤野一丁目
電話 〇四九 七、五一一・一三三
「大正十四年南藤小学校卒」

蒼騎会会長

画家 佐藤昌祐

練馬区東大泉三丁目一〇四
電話 〇三、三九二・五、六二七

上林眼科医院

院長 上林 茂

〒三六二・〇〇四七
上尾市今泉三六五・六八
TEL 〇四八・七八一・〇二九
FAX 〇四八・七二六・五七九

佐々木特許事務所

弁理士 佐々木重光

〒一〇五・〇〇〇一
東京都港区新橋、新ビル一階
電話 〇三、三八八・八五八
FAX 〇三、三八八・八五九

相川・田中法律会計事務所

弁護士 相川 俊明

東京都新宿区四谷一〇九

電話 〇三、三三三・四六二八
FAX 〇三、三三三・四三三八

医療法人 愛慈会 理事長

西佐倉病院

院長 池田 浩

〒二〇一・一六六
千葉県印旛郡印旛村岩戸
京成成田線白井駅西行バス
西佐倉病院入口下車
電話 〇四七六・九二六

税理士 飯野 紘

〒二〇一・〇七六
千代田区五番町
番町バスターミナル三番
電話 三三六・一〇六九
FAX 三三六・一〇六五

エレクトロニクス部品総合商社
株式会社 栄電子

代表取締役 長 染谷英雄

〒一〇一・〇〇一一
東京都千代田区外神田六丁目一番二番
電話 〇三、三八三・六八二(代)
FAX 〇三、三八三・六三九四

G&N
企画・建築・設計

代表 丸藤 晋

〒九九八・〇八四三
山形県酒田市千町一七二八
電話 〇二四・二九二・八二五
FAX 〇二四・二九二・二八〇

金子・進藤国際税務事務所

税理士 進藤 弘

〒一〇五・〇〇〇一
東京都港区門二六一四
電話 〇三、三九二・七九三
FAX 〇三、三九二・七九三

桜井耳鼻咽喉科

櫻井 淳

〒一〇五・〇〇〇一
東京都豊島区東金町一四一三
電話 〇三、三六九・四三三

BIPOS バイポス

美しさで情報を伝えます!
コストダウンでサポート

汎用機・WS・PC・WPのデータを自在に編集・加工
オンデマンドシステムで対応
情報処理のビジュアル化をフルサポート
最短の時間と最小のコストをお約束

株式会社 文栄社

〒03-0023 東京都中央区日本橋本町4-14-11
☎(03)3662-1951 FAX(03)3661-9735
http://www.bbe.ne.jp E-mail:buner@bbe.ne.jp

ました。次回もどうかご参加下さい。今回も星野御夫妻に参加いただき、楽しいゴルフとなりました。

さて次回秋のコンペは、一月一日(木)に開催の予定であります。皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。特に女性の参加はモースト・ウェルカムでありますので、ぜひぜひ御参加ください。又ゴルフの大好きな紳士も募集中であります。
(連絡・携帯)〇八〇—三〇二七—
〇一六九 満合)

酒東柔道部首都圏総会開催

会長 中山 誠 (35回)

六月五日(土) 酒東柔道部東京支部総会を今年もお茶の水のホテル聚楽で開催しました。

毎年行っておりませんが今年も酒田からは本部の彦坂会長はじめ三名の参加がありました。東



京からの参加は少なかったのですが、柔道をやっていた頃の若き高校時代が懐かしく酒田弁で話はずむなど盛り上がり、楽しい会になりました。小山副会長の報告によると現役の柔道部員が年々少なくなり、試合を組む際に大変苦慮しているというものでした。とても寂しくなりましたが、時代の流れでしょうか。

中高年の私どもは健康第一とし、青春時代を酒東で過ごせたことを誇りにし、これまで以上にこのOB会総会の益々の発展を期待したいと思っています。

亀城人往来

酒田市美術館で来年個展

佐藤昌祐 (13回)



佐藤昌祐氏の油彩「テラスにて」

来年、郷里の酒田市美術館で、油絵による第一六回の個人展を開催致すことになりました。作品は約七〇点を予定しています。期日は平成一七年五月・五日から六月一〇日の予定です。

作品は、昭和三〇年頃から現在までの人物、風景、静物画など、六〇〜七〇点を展示予定です。ほとんどが油絵で、スケッチが少し混じるかと思いますが、最上川を前景とし、酒田市を中景に鳥海山を望む風景は、酒田の代表的な風景の一つになると思います。ぜひ、お出でいただければと思います。



2004年8月6日金〜8月8日 新国立劇場小劇場 開演

2004年8月6〜8日に新国立劇場小劇場で開催される「はだしのゲン」パンフレット

当り役伊勢三郎とサンチヨ

佐藤 輝 (39回)

九九年の新国立劇場公演で義経の右腕、知略に長けた山賊上りの伊勢三郎役が各紙に絶賛された木下順二作『子午線の祀り』が今年一月二〇日〜二八日世田谷パブリックシアター、〇五年一月北九州、京都、大阪などで公演。平家物語の屋島から壇の浦の合戦を迫



佐藤輝氏の伊勢三郎役

力ある群読で表現する。演出は観世栄夫、知盛に野村萬斎。高橋恵子が初出演。

五曲のソロを歌い「劇軽さで極め付き」と評判の『ラ・マンチャの男』サンチョ役三七九回目は来年月名古屋名鉄ホール、六月東京帝国劇場。俳優人生四〇年の年に出演四〇〇回を迎える。当り役二作品、ご期待下さい！

●チケットなどお問い合わせは、さち子プロへ

○三―三三九―四六六四

☆最新情報はホームページを

<http://www.h4.dion.ne.jp/terutsu/>

芝居を作って……

木山 潔 (36回)

木山事務所は、演劇創造を開始してから、今年がちょうど二五周年に当たります。わが国の演劇文化に対する公的な財政支援は、ようやく緒についたばかりで、もちろん十分とは言えません。

そんな状況の中で、我々は東京のみならず日本全国、そして海外での公演を続けています。その中の一つ『はだしのゲン』は六月下旬から静岡県県下を巡演し、八月六日・八日に新国立劇場で上演します。七月下旬から『新・ワグナー家の女』の近畿での公演もスタートします。

一月には戦争の心の傷跡を検証すべく五作品を東京で上演、来年三月に新作をソウル、釜山で初演します。草の根の、手作りの芝居作りに日夜追われています。

昭和二八年卒
酒田東・西高校

酒東二八会

会長 伊藤俊治

酒田市緑ヶ丘一九一三
☎〇三三―四一三―二六六三

昭和二八年卒
酒田東・西高校

東京二八会

会長 金山義雄

事務局 松江市小金原七―一―二
五十嵐 昌士
☎〇四七―三四五―四〇八四

昭和二九年卒
酒田東・西高校

東京ふくの会

連絡先 本間英生
自宅 ☎四八〇(三三)四〇三七

昭和三三年卒
酒田東高校

東京燦燦会

連絡先 阿部尚記

TEL/FAX
〇三―三九四八―三三九〇
Eメール naokita@bluecane.jp

昭和三四四年卒
酒田東高校

東京三四会

有志一同

昭和三五年卒
酒田東高校

東京珊瑚の会

有志一同

第三六回(酒田東第一二回)
昭和三六年三月卒業
我らが集う

山麓会

山麓にあり、集まろう
毎年 八月一五日
於 ホテルリッツ酒田

昭和三九年卒
酒田東高校

酒東39会

連絡先 幅屋仁

TEL/FAX
〇三―三七五〇―五三三三
Eメール jinhay@ch39-net.ne.jp

昭和四六年卒
酒田東高校

酒東「巽」会

連絡先 高橋常昭

電話 ☎四二六(七五)八〇九七
FAX ☎四二六(七五)八一九五

昭和五二年卒
酒田東高校

東京五二回

連絡先 池田明幸
文京区小石川一―四―九一五〇二
電話&FAX
〇三―三八一―二六三六
Eメール aikedo@sa-don.ne.jp

昭和五三年卒
酒田東高校

東京ゴミの会

連絡先 進藤弘

電話 ☎三三(二五九七)一九三〇
FAX ☎三三(二五九七)一九三四

昭和五四年卒
酒田東高校

梧葉会

連絡先 阿部浩美

電話 ☎四八(四六七)二三八二

思い出すままに

若生 茂

昨年の一二月、本当に久し振りに鳥海山に登った。ガスの中千蛇谷を辿り、晴れ上がった翌朝新山に立ち、外輪を下った。伊藤次郎先生とよく遊んだ鳥海湖の静かなたたずまいが切ない気持ち呼び起こした。翌日は、長野からの萩元さんを囲んで酒東の仲間と四〇年ぶりの旧交を温め、合間には三九回の犬貝千恵子、矢吹重子、渡部順子君と会った。

酒東は最初の赴任校で、六年間勤め、三年離任の時は上野先生と一緒だった。先生は文字通り英語教育の権化で、「高等英文法」という著書もあり、その上梓の際校正をやらせていただき、本当に勉強にな



先生元気だが

った。ずっと秋沢先生と一緒に語学部を担当したが、日曜日に「十二の滝」や「鷹尾山」へ賑やかにサイクリングしたこと、英語劇「ヴェニス商人」を上演したこと、英語弁論大会で活躍した諸君を輩出したことなど思い出が多い。会長の上林君も部員のひとりだった。

うれしかったのは、修学旅行が北海道だったこと。道南と道東と二度の機会に恵まれ、晴れた摩周湖や阿寒湖は、折からの台風とともに鮮明に覚えている。

古希と呼ばれる年になったが、幸い元気で毎年トレッキングを楽しんでいる。今年ほどの山にしようか。シーズンの到来が待ち遠しい。

老後「趣味三昧」は未だ夢

津田 富巨



八年前の定年の年、授業の合間にコッソリと藤本義一の『人生の自由時間』とか岩波の『もう一つの人生案内』を読んでいた。雲南省とかロフオーテン諸島などを調べ、「自分のための時間」をどうするかを考えていた。ところが当時、副学長をしていらした恩師の一人から酒田短大へ呼び出しがかり、日本人学生相手にマイク授業でスタートしたが、留学生が増え四年で辞めた。

私立酒田南高に六年間、酒田看護専門学校は義理を断ち切れず、老後の趣味三昧の設計がおかしくなった。海外旅行も夏休み中に中国を中心に数回のみ。酒田の街に学生達をと前同窓会長さんなどと「大学誘致」の仕事も手伝った。昨年度から大学で教員免許取得講座を持つはめになった。そんなことで「私の近況報告」は酒田中央高、専門学校、東北公益文科大学で非常勤講師をしながら若い人々と接しているということである。生き甲斐、そしてエネルギーをいただきながら、毎日何をか過している。

同時に同窓会関係の泥沼から未だ抜けきれず、会報編集、来年度発行の会員名簿編集作業も担当しており、悠々自適の生活はいまだに未達成。「今は生涯現役の時代だ」の声におだてられ、定年駅にもとまれず通過ばかりしている。ホイッスルが鳴るまで（ロスタイムがどうか）、「自己責任」を果たせないでいる。

お●知●ら●せ

東京亀城会ホームページが
八月一日スタートします

我々が校歌は友愛に満ち、理想に真つすぐで、世界に対しても開かれた志を高くに謳っている。その校歌の教えに従った内容のホームページにしたいと考えております。しかし、コンテンツ(道具や場所)があつても中身を埋めるべき会員皆様の叡智と経験がフィードバックされなければ「画竜点睛を欠く」ことになりそうです。皆様の積極的な参加を心よりお願い申し上げます。

アドレスは

<http://www.kijokai.net>
(kijokai.netだけでも接続できます)

また、同期会運営のお手伝いの一環で、東京亀城会では借り上げたサーバースペースを各同期会に無償で提供できます。独自のページを作ることも可能です。

なお、ホームページはセキュリティを考慮し以下の二部構成に分かれております。

- 一、トップページ……東京亀城会を世に知らしめる広報の場
(亀城会関係者以外の人間も閲覧可能)
- 二、会員専用ページ……会員相互の情報交換、交流の場
(パスワードにより会員以外の閲覧を規制)

覧を規制)

三、同期会専用ページ……同期のなかの連絡、交流、思い出・話の場
(パスワードにより同期会メンバー以外の閲覧を規制)

二の会員専用ページに入る時に求められるIDとパスワードは暫定(三カ月有効)で次のように設定いたします。

ユーザード : karnegasaki
パスワード : niidagawa

トップページにおいて会員登録をしていただく正式なIDとパスワードをメールで返信いたしますので必ず登録をお願いします。

さらに、同期会運営のお手伝いの一環で、東京亀城会では借り上げたサーバースペースを各同期会に無償で提供します。独自のページを作ることも可能です。詳細はホームページの「同期会ページの利用方法」を確認してください。

東京亀城会会報第二四号

発行 二〇〇四年六月二〇日

発行者 上林 茂

編集人 岩谷純子

編集 高橋常昭

発行所 東京亀城会

東京都中央区銀座一〇八一六

共同ビル銀座五階

元木徹法律事務所内

問合先 高橋企画・編集事務所

四〇四二六・七五・八〇九七

四〇四二六・七五・八一九五

明徴出版有限公司社

代表取締役 加藤 茂藏
(昭和十一年卒業)

千九八・〇四六
山形県酒田市一番町一 番六号
電話 〇二三四・二 番六号
白七 山形県酒田市一番町一 番六号
電話 〇二三四・八 番四九七
山形県酒田市一番町一 番四九七

有たつみや

熱海 壽美
(昭和二十八年卒業)

事務取締役 酒田市中町二丁目一五二二七
電話 〇二三四・二四一八七六八

英語教室
あるびおん主宰

岩谷純子
(昭和二十一年卒業)

医療法人・社団 徳信会
弥生台内科医院

高橋 信人
(昭和四一年卒業)

元木徹法律事務所
弁護士 元木 徹
(昭和四一年卒業)

板橋区議会議員
庄内ふるさと会会長
淑徳学園評議員

佐藤 悦彦
自宅 板橋区成増四ノ十八八五
電話 〇三・三九・〇・三三七一

遠藤登記測量総合事務所

所長 遠藤 功
(昭和四四年卒業)

千九八・〇三三
山形県酒田市一番町一 番五号
電話 〇二三四・二五二一〇一
FAX 〇二三四・二五二一〇三
FAX 〇二三四・二五二一〇五

高橋企画・編集事務所

代表 高橋 常昭
(昭和四四年卒業)

千九八・〇三六
山形県酒田市一番町一 番六号
電話 〇二三四・二五二一〇六
FAX 〇二三四・二五二一〇七
FAX 〇二三四・二五二一〇九

株式会社 菅原工務所

菅原 靖
(昭和四六年卒業)

千九八・〇八六
山形県酒田市一番町一 番六号
電話 〇二三四・二五二一〇八
FAX 〇二三四・二五二一〇九
FAX 〇二三四・二五二一〇一

(有) 保科商会 一般・産業収集連携

代表取締役 保科 正昭
(昭和四四年卒業)

千九八・〇三三
山形県酒田市一番町一 番六号
電話 〇二三四・二五二一〇九
FAX 〇二三四・二五二一〇一
FAX 〇二三四・二五二一〇三

総合建設業
株式会社 加藤組

常務取締役 加藤 淳
(昭和四四年卒業)

千九八・〇三三
山形県酒田市一番町一 番六号
電話 〇二三四・二五二一〇九
FAX 〇二三四・二五二一〇一
FAX 〇二三四・二五二一〇三

JMDインターナショナル

代表 工藤 久美
(昭和四四年卒業)

千九八・〇三三
山形県酒田市一番町一 番六号
電話 〇二三四・二五二一〇九
FAX 〇二三四・二五二一〇一
FAX 〇二三四・二五二一〇三
ホームページ: <http://www.jmdintl.com/>

山形県立酒田東高等学校亀城同窓会会則

第一章 総則

(名称)

第一条 本会は、山形県立酒田東高等学校亀城同窓会と称し、事務局（校内幹事）を置く。

(目的)

第二条 本会は、会員相互の親睦を図り、かつ母校の後援にあたることを目的とする。

第二章 組織

(組織)

第三条 本会は、山形県立酒田中学校、山形県立酒田第一高等学校、山形県立酒田高等学校、及び山形県立酒田東高等学校出身者、並びに以上の学校に縁故ある者で次の会員をもって組織する。

一、通常会員

(一) 母校卒業者

(二) 母校に在学した者で入会を希望し、理事会で承認された者

二、特別会員 母校職員及び母校職員であった者

第三章 事業

(事業)

第四条 本会は、目的達成のため次の事業を行う。

一、総会の開催

二、会員名簿及び会報の発行

三、母校支援のための必要な事業

四、母校職員転退職者に謝意を表すこと

五、その他本会の目的達成のために必要な事業

第四章 地区亀城会

(地区亀城会)

第五条 本会に地区亀城会を置くことができる。本会は各地区亀城会と緊密な連携を図る。

第五章 機関

(機関)

第六条 本会に次の機関を置き、会長がこれを招集する。

一、総会 二、理事会 三、常任理事会

(総会)

第七条 総会は毎年一回開き、理事会で承認された会務報告・決算・事業計画・予算・役員及び会則の改正・その他重要事項の報告を受ける。

(理事会)

第八条 理事会は最高決議機関とし、年二回これを開催すると共に、次の事項を審議し、出席者の過半数をもって決議する。また、必要がある場合には臨時理事会を開くことができる。

一、決算の承認

二、予算及び事業計画の承認

三、役員の選任

四、会則の改正

五、その他必要な事項

(常任理事会)

第九条 常任理事会は必要に応じてこれを開き、次の会務を行う。

一、理事会に提出する議案の作成

二、会務の執行上必要な事項の決定

第六章 役員

(役員)

第一〇条 本会に次の役員をおく。

一、会長 一名 本会を代表し会務を統括する。

二、副会長 五名以内（内一名は校長）

会長を補佐し、会長事故ある時は会長の代理をする。

三、顧問 若干名 重要事項に関し、会長の諮問に応ずる。

四、相談役 若干名 重要事項に関し、会長の諮問に応ずる。

五、理事 若干名

会長、副会長と共に理事会を構成し、会務を審議し、会員相互の連絡にあたる。

六、常任理事 若干名

会長、副会長と共に常任理事会を構成し、この会則に定める事項を執行する。

七、監事 二名

会計並びに会務の状況を監査すると共に、理事会・常任理事会に出席して意見を述べるができる。

(役員の選出)

第一一条 役員の選出は、次の通りとする。

一、会長 会員中より理事会において選出する。

二、副会長 会員中より理事会において選出する。

三、顧問 会長経験者の中から会長が委嘱する。

四、相談役 各地区会長とする。

五、理事 全日制課程・定時制夜間課程の同年度卒業通常会員の互選により、各学年より選出する。

但し、議決権は各学年代表一人とする。

六、常任理事 理事会で理事の互選により選出する。

七、監事 理事会で理事以外より選出する。

(役員の任期)

第二二条 役員の任期(校長を除く)は、三年とする。但し、再任を妨げない。しかし会長は三選できないものとする。補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第二三条 事務局員(校内幹事若干名)は、会長が委嘱する。

校内幹事は、諸掌事務・常任理事会・理事会の議事録に関する事務を処理する。

(委員)

第二四条 会長は必要に応じ、特定事項の原案作成のため、委員を委嘱することができる。

第七章 会計及び簿冊

(会計)

第二五条 本会の会計は会員よりの入会金、協力金及びその他の収入をもつてあてて。

第一六条 通常会員は入会の時に、入会金を納入する。会員は毎年事業を行うための協力金を納入するものとする。但し、入会金・協力金の金額は理事会で定める。

(会計年度)

第一七条 本会の会計年度は五月一日に始まり翌年四月三〇日までとする。

(簿冊)

第一八条 本会に次の簿冊を備える。

一、会務記録 二、会員及び役員名簿 三、会計簿

四、理事会及び常任理事会の議事録 五、その他必要な簿冊

附則

本会則は、昭和四五年五月より実施する。

昭和五五年四月一部改正施行。

平成四年一〇月一部改正施行。

平成五年一〇月二日より一部改正施行。

平成九年一〇月一四日より一部改正施行。

平成一一年一〇月一四日より改正施行。

役員の任期起算年月日は平成一一年七月一日とする。

平成一五年一月五日より改正施行。

に、次の事業を行う。

一、総会、懇親会等の開催

二、母校との連携、後援

三、亀城同窓会及び各地の亀城会との連携

四、会員名簿の作成

五、会報の発行

六、講演会等各種行事の開催

七、その他本会の目的を達成するために必要な事業

第二章 会員

(会員)

第五條 ①本会は、山形県立(旧制)酒田中学校、酒田第一高等学校、酒田高等学校若しくは酒田東高等学校に在学した者又は同校の教職員であった者で、関東地方一円に居住する者をもつて会員とする。

②本会の会員は年会費を支払うものとする。

第三章 役員等

(種類)

第六條 ①本会に、次の役員を置く。

一、会長 一名

二、副会長 五名以内

三、理事 各卒業年次二名以内

四、会務執行理事 若干名

五、監事 二名

②本会に、顧問、相談役等の役職を設けることができる。

(選任)

第七條 ①会長、副会長及び監事は、会員の中から、理事会の推薦により、総会において選任する。

②理事は、各卒業年次の会員が行う推薦により、会長が委嘱する。

東京亀城会会則

第一章 総則

(名称)

第一条 本会は、東京亀城会と称する。

(事務所)

第二条 本会は、事務所を東京都に置く。

(目的)

第四条 本会は、前条の目的を達成するため

③会務執行理事は、理事の中から会長が委嘱する。

④顧問は、理事会及び総会の推薦により、会長経験者をもって充てる。

⑤相談役は、理事会及び総会の推薦により、副会長経験者又は本会に功労のあった会員を持つて充てる。

(職務)

第八条 ①会長は、本会を代表し、会務を総理する。

②副会長は、会長を補佐し、会長に事故等があるときは、会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

③理事は、理事会を構成し、この会則に定める事項を審議する。

④会務執行理事は、会務執行理事会を構成し、この会則に定める事項を執行する。

⑤監事は、会計を監査するほか、理事会及び会務執行理事会に出席して、意見を述べることが出来る。

⑥顧問及び相談役は、会務に関し、会長の諮問に応ずる。

(任期)

第九条 役員の任期は、二年とする。ただし、再任を妨げない。

第四章 会議

(種類)

第十条 本会の会議は、総会、理事会及び会務執行理事会とする。

(総会)

第十一条 ①総会は、会員をもって構成し、毎年一回開催し、会長が招集する。

②次の事項は、総会において議決する。

一、会長、副会長及び監事の選出

二、事業計画及び予算

三、事業報告及び決算

四、年会費の額の決定及び改訂

五、その他本会の運営に関する重要な事項
③総会の議事は、出席者の過半数をもって議決する。

(理事会)

第十二条 ①理事会は、会長、副会長及び理事をもって構成し、毎年一回以上開催し、会長が招集する。

②理事会は、次の事項を審議し、決定する。

一、総会に付議すべき事項

二、本会の重要な会務の執行に関する事項

③理事会の議事は出席者の過半数をもって決定する。

(会務執行理事会)

第十三条 ①会務執行理事会は、会長、副会長及び会務執行理事をもって構成し、必要の都度、会長が招集する。

②会務執行理事会は、次の事項を策定し、会務執行理事は、共同して又は分担して執行する。

一、総会又は理事会に付議すべき事項の立案

二、総会又は理事会の議決した事項の具体的執行方針

三、その他本会の会務の具体的執行方針

③会務執行理事会は、会務の執行のため、委員会を設けることができる。

(経費)

第十四条 本会の経費は、年会費、広告費、寄付金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第十五条 本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年の三月三十一日に終る。

(暫定予算)

第十六条 当該年度の予算が成立していないときは、会長は、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出する事ができる。

第五章 会則の変更

(会則の変更)

第十七条 この会則は、理事会の議を経て、総会において出席者の過半数の議決をもって変更することができる。

第六章 事務局

(事務局)

第十八条 ①本会に、その事務を処理するため、事務局を置く。

②事務局は、当分の間、会務執行理事およびその他の会員をもって構成する。

(帳簿等)

第十九条 事務局には、会則、会員及び役員名簿、会計帳簿、会務記録等の帳簿及び書類を備えるものとする。

第七章 補則

(会則に定めなき事項)

第二十条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要なものは、理事会において決定する。

附則(昭和四三年七月一日施行)

附則(昭和五〇年・五二年・五九年・六一年改正)

附則(平成八年十一月一日改正)

改正後の会則は、改正の議決の日から施行する。

●「9」の執行年次が企画した

「聖バレンティン・フラスアンサンプル」
都内と近郊の大学オーケストラ
の金管楽器奏者を中心となつてい
るアマチュアグループです。トラ
ンペット四、ホルン一、トロンボ
ーン四、デューバーの金管一〇の
ファイリッパ・ジョーンス・フラス
アンサンプルのスタイルで演奏し
ます。

年一回の定期演奏会と全国各地
で開催される毎年のフラスアンサ
ンプル・フェスティバルへの出演
を中心に、チャペルコンサートや
国内外の演奏旅行など、息の長い
活発な活動を行っています。

オーストラリアなどでの五回の
海外演奏も好評でした。山形には
すでに八回演奏に訪れており、昨
年の国民文化祭を初めとする松山
町での演奏、世界ホルンフェステ

聖バレンティン・フラスアンサンプルの
ラディニヤック演奏会風景



イバルでの最上川舟下りコンサ
ート、また山形県民会館でのフラス
アンサンプル・フェスティバルな
どでずいぶんお馴染みになってい
ます。演奏曲は、トランペット・
ボランタリー、戦いの組曲、酒出
東高校歌などです。

●平成一七年賀詞交歓会・

第五回セミナーのご案内

ご好評のセミナーと賀詞交歓会
を次のとおりに開催します。

(賀詞交歓会のみ要会費、学生と新
卒は無料)

○日時 昭和一七年・月二日

一一一五時(予定)

○場所 五反田ゆうぽうと

○講師

齋藤 慎爾氏(三三回、俳人)

題目「庄内弁について」

第四回セミナーのあとの賀詞交歓会で、講師
の中村恒也氏と越後谷悦郎氏を中心にして
「サカチュウ」校歌を歌う

平成16年
東京亀城会 賀詞交歓会



価値あるセレモニーを
皆様とともに

営業範囲 関東近県
東京亀城会関係者割引
20%OFF(祭壇料)

(株)
日典

入退院寝台手配 二十四時間受付

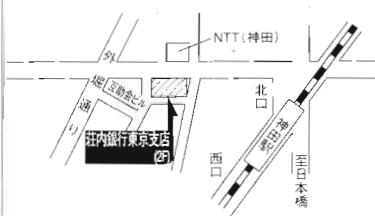
顧問 五十嵐昌士(二八回卒)

東京都大田区大森北3-13-2
(03)3298-0085
sougj@ntn-jp.com

http://www.ntn-jp.com/sougj

ふるさとの銀行

つながります、
人・夢・情報。



荘内銀行 東京支店
TEL.03-3256-8911

EPSON

時と情報を核に、
快適生活を支援する



東北エプソン株式会社
〒998-0194 山形県酒田市十里塚166-3
TEL(0234)31-3131